

クラウドマネージドサービスで AWS運用の人件費を4割カット 技術者がコア業務に注力

ユーザー増加とシステムの拡張による技術者の運用管理の負担軽減とコア業務への「選択と集中」を狙いとして、Rackspaceのクラウドマネージドサービスを導入。基盤としてのプラットフォーム運用の負担が軽減され、コア部分に集中しサービス開発に取り組みやすくなることと、アプリケーションのコード管理やデプロイのベストプラクティスなどの最新技術をキャッチアップできました。

課題

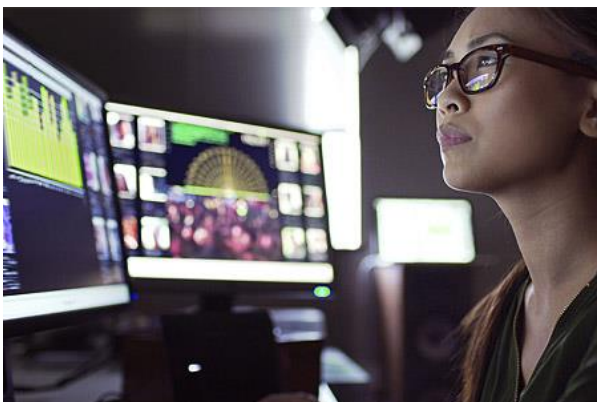
株式会社ナビックは、店舗・事業所・オフィスなどで利用する事業用Wi-Fiネットワーク環境をサービスとしてお客さまに提供しているIT企業です。そのサービスの基盤は『AWS (Amazon Web Services)』のクラウドを使用していますが、利用者が数万という規模に増え続けることによる管理の負担を軽減することが課題となっていました。トラブル発生時のお客様の環境との切り分けが技術者の負担となり、本来取り組むべきサービス開発などに影響していました。また、サービスを開発する上でも、システムが大きくなるにつれて、全体像がわかりにくくなり、手間とコストが増える傾向にありました。

ソリューション

ナビックでは「技術者が運用管理から解放されてコア部分に注力したほうがよいのではないか」という考えのもと、Rackspaceのクラウドマネージドサービス「Rackspace Service Blocks for AWS」を検討しました。

検討の結果、運用管理の負担を軽減しつつ、最新技術のキャッチアップもできて、「自分達の技術を“選択と集中”できる」と判断し、

「Rackspace Service Blocks for AWS」の基本サービスである「Platform Essentials」と、設計・構築のサービス「Architect & Deploy」、そして運用・管理のサービス「Manage & Operate」の三つのクラウドマネージドサービスの導入を決定。またRackspaceが提供する「Passport」というツールによって、セキュアなエリアにあるサーバーに対しても直接アクセスできるようになりセキュリティ対策の負担も軽減されました。



利点

AWS運用にかかる人件費を4割もカット

技術者が運用管理から解放されてコア部分の業務に注力ができるようになった

問い合わせが減り、対応する時間が減り、それに関わるマネージメント費用なども削減

月次レポートによるサーバーの稼働状況の把握と費用のかけ方についてのアドバイス

セキュアなエリアにあるサーバーに対する直接アクセスによりセキュリティ対策の負担も軽減

アプリケーションのコード管理やデプロイのベストプラクティスなどの最新技術をキャッチアップ

Rackspaceの専門知識を活用することで、AWSのサービスの調査時間などを短縮

お客様の声

“もちろん目に見える実質的なコスト削減効果も相当にありました。やはり一番はAWS運用にかかる人件費で、実に4割もカットできました。そこで浮いた人的リソースを自分達のコア部分に投入できるので、競争力向上につながると考えたい”

“最もメジャーと言われるAWSを選定して導入したのですが、結果としてAWSに熟知した人材を確保するのに相当な努力とコストが必要になっていました。しかも、200以上もあるサービスをすべて熟知している人など、まずいないでしょう。Rackspaceチームのみなさんに依頼することで、私達もお客様側も安心して開発を行えるようになったと考えています。”

株式会社ナビック 取締役
大川 宏氏

Fanatical Experience™

Rackspaceは、お客様に寄り添い、初めてのコンサルティングから日々の運用まで、常時稼働するサービスと最高峰のツールや自動化を組み合わせ、必要なときに必要な方法でテクノロジーを提供します。

rackspace powered by ired
technology

<https://www.rackspace.jp>

アイレット株式会社
〒105-6307 東京都港区虎ノ門1-23-1
虎ノ門ヒルズ森タワー 7F
<https://www.ired.co.jp>

2021年8月4日:
Rackspace-Case-Study-NABIQ-1

導入効果

マネージドサービスによって、基盤としてのプラットフォームの運用の負担が軽減され、ナビックのコア業務に集中し、サービス開発に取り組めるようになりました。また、機器のインスタンスの監視や強固なセキュリティプラットフォームなど、「総合的に安心できること」が実現されました。

問い合わせと技術者の対応時間が減ることにより、それに関わるマネジメント費用なども削減できました。お客様側のトラブルで「ナビック側に問題があるのではないか」とご連絡をいただくことは、ほぼゼロになり、切り分けなどの技術的に複雑な対応がなくなったことで、コールセンター自体を外外部化できたことも、コスト削減につながりました。そして、もちろん目に見える実質的なコスト削減効果もあり、AWS運用にかかる人件費を4割もカットできました。

また、パブリックで公開されているチュートリアルなどをナビックの技術者に紹介したり、コード管理やデプロイ方法などのアドバイスすることで、アプリケーションのコード管理やデプロイのベストプラクティスを体験し最新技術をキャッチアップできるようになりました。

Rackspace Service Blocks for AWS



Platform Essentials
(基本サポート)



Architect & Deploy
(設計・構築)



Managed & Operate
(運用・管理)

Platform Essentials :

アカウントとユーザー権限を統合管理できるコントロールパネルを提供し、Rackspaceのクラウド専門家に24時間365日アクセスできます。

Architect & Deploy :

認定クラウドアーキテクトが、お客様固有の要件にあわせてクラウドインフラストラクチャを設計、構築、導入します。クラウドアーキテクトのベストプラクティスを活用して最適なパフォーマンスと信頼性を実現します。

Manage & Operate:

認定された専門家のチームによる24時間365日の運用サポートと、強化されたツールにより、クラウドインフラの管理とモニタリングを行い、運用の負担を軽減します。

Copyright © 2021 ired, Inc. & Rackspace US, Inc. All rights reserved.

Rackspace®, Fanatical Support®, Fanatical Experience™, およびその他のRackspaceのマークは、米国およびその他の国におけるRackspace US, Inc.の登録サービスマークまたはサービスマークです。iredおよびその他のiredマークは、日本およびその他の国におけるired, Inc.の登録サービスマークまたはサービスマークです。

その他のすべての商標、サービスマーク、画像、製品およびブランドは、それぞれの所有者の唯一の財産であり、保証または後援を意味するものではありません。記載されている機能、メリット、価格はシステム構成によって異なり、予告なく変更されることがあります。ired, Inc.およびRackspace US, Inc.は、iredまたはRackspaceサービス契約に明示されている場合を除き、それぞれのサービスに関する表明、保証、またはその他の法的義務を負いません。